様式１

令和　５年　４月　３日

令和　５　年度　学校経営環境分析書

和庄中学校区　校番　１５　学校名　　長迫小学校

１　学校の内外環境の分析

外部環境	**O**（支援的要因） 〈教育環境〉 ＊ゲストティーチャー，登校見守り，クリーン活動等の学校行事への参加があり，学校支援の体制がある。 ・地域社会が落ち着いており,児童への優しい声かけがあり，支援が期待できる。 〈小中一貫〉 ＊小中一貫が充実し，４校に連携体制が整っている。	**S**（強み） 〈児童・生徒の実態〉 ＊優しく穏やかな児童生徒が多い。また，規範意識も高い。 ・静止礼が徹底している。 ・最高学年として「長迫お天気ステーション」「追悼式」等，目標にする姿を示す取組が充実している。 〈教職員集団〉 ＊「チーム」としての意識が高く，協力して教育活動に取り組む。 ・小規模校ならではの機動性があり，一人一人に応じた細やかな指導を行っている。	内部環境
	T（阻害的要因） 〈家庭環境〉 ＊経済的な格差が大きく，困難さを抱える家庭がある。 ＊一部の保護者であるが，対応が長期化したり対応に困難さがあったりする等，外部機関との連携が必要な場合がある。 〈地域環境〉 ＊交通量が多く，登下校時の安全に課題がある。 ・土石流並びに急傾斜地の特別警戒区域に指定されている箇所が多数ある。 ・運動場が狭いため，走る，投げる等の運動が制限される。	**W**（弱み） 〈児童の実態〉 ＊主体的に行動できるエネルギーのある児童・生徒が少ない。 ・コロナ禍による活動の制限があり，掃除の仕方がわからない児童が多い。 ・読書量が少なく，読む力が弱い。 ・単学級のため児童の人間関係が固定化しがちである。 〈学校・教職員〉 ・校舎の配置から，望ましい教室配当ができず，連携がとりにくい。 ・学校施設の老朽化が進み，修繕が必要な箇所が多い。	

＊和庄中学校共通事項

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

＊小中一貫教育を推進し，９年間を通して和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。
＊組織として主体的な学びを進め，学力向上を図る。
＊防災教育において，地域の特色を生かしたカリキュラムマップに基づいた実践を行う。
・「チーム長迫」の意識を高くもち，全職員がベクトルを揃えて取り組む。
・組織として「考える授業づくり」に取り組む。

〈生徒指導の推進〉
＊９年間を見通した組織的な生徒指導を行う。
＊「和庄中学校区スピリット」の浸透に向けての取組を充実させる。
・教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を構築する。
〈学力向上〉
＊和庄中学校区授業モデルによる授業づくりを行う。
〈体力・運動能力の向上〉
＊「メディアコントロール」の取組により基本的生活習慣の定着を図る。（おうちストレッチの取組，元気カードの定着）

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

２　重点課題

○和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。
- 基礎・基本を定着させ，「考える授業づくり」を実施し，思考力・判断力・表現力を育む。
- 地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践により，家庭を巻き込む防災教育の深化を図る。
- 「和庄中学校スピリット」に基づく児童を育成する。
- 基本的生活習慣の確立や体力・運動能力向上を図る。